

木材ジャーナル 名古屋・世ぶ

令和4年6月号 No.181

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和4年度木材関連団体総会開催

木材関連団体の通常総会は令和4年5月25日（水）午後1時30分から名古屋木材会館に来賓、組合員約40名の出席を得て3年ぶりに対面で開催された。

西垣組合長はあいさつの中で「3年ぶりに対面形式での総会となった。コロナ禍により活動は制限されてきたが、木材を巡る状況は大きく変わってきた。ぜひ名古屋を、木造・木質化を進める先頭を走る都市としたい」と述べた。

名古屋木材組合の議案

- 第1号議案 令和3年度事業報告について
- 第2号議案 令和3年度収支決算について
- 第3号議案 令和4年度事業計画について
- 第4号議案 令和4年度収支予算について
- 第5号議案 令和4年度組合費の賦課及び徴収方法について
- 第6号議案 記念部分林特別会計
 - ①令和3年度事業報告および収支決算の承認について
 - ②令和4年度事業計画及び収支予算の決定について
- 第7号議案 定款の変更について
- 第8号議案 役員の変更について



以上各議案については事務局の説明通り承認された。その後来賓を代表して名古屋市長（代理 名古屋市経済局大橋産業労働課産業企画係長）から祝辞が述べられ総会が終了した。

また、午後2時20分から開かれた（一社）愛知県木材組合連合会の総会において、組合功労者、永年勤続従業員表彰式が行われ、下記の方々が表彰されました。

◎組合功労者知事表彰

原田志守也（鳳来）、浅田善直（知多）、山田晃司（木産協）

◎永年勤続優良従業員知事賞

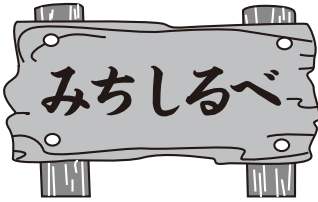
阿部幸江（㈱杉生）、中村佳奈子（㈱杉生）、岡田弘之（㈱山西）、増山正広（㈱山西）
野口剛弘（㈱山西）

（敬称略）

★新役員 副組合長 上地浩之（上地木材㈱）

理 事 鈴木興太郎（大日本木材防腐㈱） （敬称略）

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



「両利きの経営」から学ぶ - 基本概念 -

by チャールズ・A・オライリー

先の見通せない時代の木材業界の在り方とは!?

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

今、世界は大転換期の真只中にいます。新型コロナウイルスも3年目に入り、尚終息の兆しが見えない状況が続いております。又、ロシアのウクライナ侵攻に伴い、中国の地政学的リスクによる覇権主義の動きも様相を呈しており、冷戦終結後の世界秩序の崩壊の危機を引き起こしかねない、想像だにしない出来事が起こっています。そして世界経済は、供給力不足、資源・資材不足、価格高騰を引き起こし、インフレの波に襲われ、日本経済にとっても、現在インフレ傾向による資材・資源高と円安が重石となっています。第3次ウッドショックに見舞われた木材住宅業界においては、その第2幕への備えが急務となっており、木材住宅業界も変化への適応が避けられないものとなっています。

「両利きの経営」とは! - 組織進化論 (脱皮できない蛇は死ぬ)

“次の成長領域をいかに見つけ出すのか。”今多くの経営者がこの課題に直面し、業界・企業の生き残りをかけてもがいています。先が見通せないのであれば、変化の流れの中に分け入って、自社独自のやり方を試しながら進むしかありません。

“脱皮できない蛇は死ぬ”。変化に適応できない企業は、遅かれ早かれ、新興企業からの破壊的なイノベーションによる挑戦を受けて、駆逐されてしまいます。主力事業の社員を守りながら、過去に囚われない新たな取り組みを実行できる組織となるためには、何をしなければならないのか。守る経営をしながら攻める経営をするとは、どういうことなのか。両極のバランス・ポイント(重心)はどこにあるのか。その為の経営手法が、チャールズ・A・オライリー教授が提唱する「両利きの経営」による組織経営論・組織進化論です。

組織の2つの能力 - 「知の探索」と「知の深化」

組織が進化するためには、「(既存事業)を深掘りする能力 知の深化」(exploit)と「(新規事業)を探索する能力 知の探索」(explore)の異なる2つの組織の能力が必要となります。「両利きの経営」とは、企業が長期的な生き残りを賭けて、これらの相矛盾する能力を“同時に”追求することのできる組織能力の獲得を目指すものです。

しかし、「深掘り」と「探索」を同時に追求すると、組織内では、例えば既存事業側から新規事業側に対して「俺たちが汗水たらして稼いだ利益を湯水のように使って・・・」という怨嗟が生まれると言ったトレード・オフ(一方を追求すれば他方を犠牲にせざるを得ない状態)が発生します。「両利きの経営」では、この矛盾克服の鍵は、「組織カルチャー」のマネジメントにあるとしています。「組織カルチャー」とは、企業理念や価値観・社風といった概念のことではなく、具体的な「仕事のやり方」です。

木材業界にとっての「両利きの経営」とは!?

今後の業界の在り方を考える上でも、この「両利きの経営」の視点と新しい組織(業界)カルチャーの醸成が重要になります。業界にとっての「知の深化」とは、木材需要の柱である新設住宅(増改築含む)における木材需要の深掘りと、中長期的な新設住宅着工数の減少が予想される中、ウッドファースト社会実現に向け取り組んでいる非住宅分野の建築物をはじめとする都市の木造化・木質化などの取り組みに他なりません。

業界にとっての「知の探索」とは、グリーンビジネスの創造と挑戦になります。SDGs(持続可能な開発目標)の達成と2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現が、時代の命題となる中、「伐って、使って、植えて、育てる」再生可能なエネルギーであり、地球温暖化の要因である温室効果ガスの1つであるCO₂を吸収し貯蔵・固定化する木材の有効利用は、人類の未来への大きな可能性を秘めた資源になります。又、森林には、土砂災害の防止、洪水の緩和、水資源の貯留といった多面的な機能があり、グリーン社会の実現に向け、自然環境が持つ機能を引き出し、社会問題に対応する「グリーンインフラ」の柱にもなります。

組合としましては、林野庁が提言する「都市等における『第2の森林』づくり」に向け、都市の木造化・木質化を推進するとともに、グリーンビジネスの創造に向け、産官学の連携にも取り組んで参りますので、皆様の一層のご協力の程お願い致します。

◆ 合縁木縁 ◆

「 マラソン!？」

幼い頃から体を動かすのが大好きで、奈良県の田舎育ちでしたので、少年時代は公園というよりは近所の原っぱで、鬼ごっこ、野球、サッカー、ドッジボール…と日が暮れるまで毎日走り回っていました。そんなわけで、唯一の得意科目は「体育」。ただ、苦手な種目があってそれは「長距離走」でした。何故か長距離はからきしダメでした。小学校で年に1回ミニマラソンがあったのですが、前半こそ上位グループにいるものの、中盤から順位を下げて…苦手ととにかく嫌なイベントだったのを覚えています。中学高校と野球部でしたが、練習メニューで何が嫌かと言えば長距離走でした。

大人になり長距離走は避けるようにしていましたが、数年前、ひよんなことから「マラソン大会」に参加する破目になってしまいました。マラソンと言いましても選択したコースは27kmでしたが、私にとっては人生最長でとんでもない距離でした。案の定、15km過ぎたあたりからもはや「走り」ではなくなり、20km過ぎからは「歩き」でもなく、足を引きずっているのか這っているのか分からないような格好で何とかゴールに辿り着いた始末。翌日からしばらく足が棒になったのは言うまでもありません。その後も何故かマラソン（と言ってもハーフ+α程度）に何度か参加しております。

全く上達せず苦行でしかないのですが、これがきっかけで一つだけ身に付いた習慣がありまして、それは「ランニング」です。ちょうど健康診断結果が気になる年齢、10～15km/回を1～2回/週、これが4年程続いています。今もなお「長距離走」の苦手克服には全く至っておりませんが、ここ数年でお腹周りに蓄えつつある塊と向き合い…不格好な「ランニング」は続けていきたいと思えます。ただ、走った後は必ず栄養補給にビールとおつまみがセットなのでダイエットにはなっておりません！

今回は、株式会社ナゴヤ辻文 隈部 雄一氏にお願いします。

木場すずめ

『 コロナ禍のグルメ旅行 』

今年5月でコロナが発生して2年数か月になります。GWに緊急事態宣言、蔓延防止等重点処置が3年ぶりに無くなり、この連休中に北九州に出かけました。

AM6:20名古屋発のぞみ号に乗車AM9:39博多に到着。車内は帰省客でしょうか、かなり込み合っていて、コロナ感染するのではないかと少し緊張しました。筑紫口にあるレンタカーを借り、佐賀県唐津市へ向けて走行、市内手前の虹ノ松原にて休憩。ここは全長4.5キロ、幅は約0.5キロで大小合わせて100万本生育しているそうで、日本三大松原の一つに数えられる。昼食は名古屋ではなかなか食せないサバの刺身。アニサキスが気になるが日本海側のサバは内臓にとどまり、安心してマグロの刺身より美味と感じました。

その後右手に玄界灘を見ながら、海岸沿いを走行。夕方近くに呼子町に到着、ここで一泊。目的は名物のイカ、夕食のイカづくし料理に舌鼓。沖の方では窓から見える漁火が美しく、酒も入って最高の夜でした。

翌朝呼子の朝市に寄り有田に向かいました。有田焼で有名な柿右衛門窯を見学して、佐賀市内を通り、佐賀県と福岡県にまたいである脊振山に向かい山頂にて休憩。ここから眼下に見える福岡市の全景が素晴らしく、疲れを癒す一時でした。

福岡市内へ向けて下り坂を走行、市内にある櫛田神社へ到着。ここは博多祇園山笠が奉納されており、毎年7月1日から7月15日まで祭りの期間があるそうで、博多の総鎮守で神紋は胡瓜の切り口に似ており期間中は食さない、また女性との接触を避けなければならないなど、してはならないタブーがあるそうです。また境内には樹齢1000年（推定）の実に風格のある大銀杏の大木があります。櫛田神社をあとにして市内のホテルにて一泊。夕食はゴマサバ、通常のサバの刺身を醤油だれと胡麻で和えたものです。またおきゅうと（海藻で練り上げた）も珍しく食しました。これと同じ物が新潟県の佐渡島にもあり、想像ですが日本海側に北前船が行き来していた時代に伝わったのではないのでしょうか。

翌朝博多駅からのぞみ号にて名古屋駅に到着、今回はのんびりしたグルメ旅行が出来ました。今回は時間を見つけて南九州の旅に行きたいと思えます。

第72回全名古屋木材産業野球大会閉幕

「第72回全名古屋木材産業野球大会」(名古屋木材健康保険組合、名古屋木材組合、名古屋港木材産業協同組合共催)は、5月8日(日)、午前9時から3位決定戦(サンコー対DMB)のあと午前11時から決勝戦がヤマガタヤ対エンヤの間で行われ、ヤマガタヤが2年ぶりに優勝(通算10回)を果たし、エンヤが準優勝。3位はサンコー、4位はDMBという結果に終わりその後、閉会式・表彰式が行われました。

決勝戦	一	二	三	四	五	六	七	計
ヤマガタヤ	1	4	4	8	0	2	0	19
エンヤ	0	0	2	0	1	0	0	3

三位決定戦	一	二	三	四	五	六	七	計
サンコー	1	3	0	0	0	0		4
DMB	0	0	0	0	0	0		0

(決勝戦) エンヤは3回に伊藤選手(優秀選手賞)の本大会初のホームランを放ったがヤマガタヤの安藤選手(MVP賞)の好投と切れ目のない打線により得点を重ね優勝を再度手にされました。

閉会式では、江口達郎大会委員長より挨拶があり、その後ヤマガタヤに優勝旗・杯・賞状、エンヤに準優勝旗、サンコーに三位旗が手渡され大会の幕が下りました。



お知らせ

令和4年度飛島地区・弥富地区春季一斉清掃中止のお知らせ

令和4年度及びそれ以降の春季一斉清掃につきましては中止することとなりました。今後は秋季における土砂回収のみ実施しますので、各位におかれましてはお間違いの無いようお願い致します。

問い合わせ先 TEL.052-398-0612 名古屋港管理組合 港湾管理事務所 業務第一課

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

6月9日は『ロックの日』です！

蟹江警察署管内では、建物の無施錠カ所、容易に破壊可能な施錠カ所を狙った侵入盗被害が多発しています。防犯の基本は【施錠の徹底】にあります。犯人は施錠設備を破壊して建物内に侵入する傾向にあるため、ワンロックで安心していても、あなたやあなたの大切な方が被害にあう可能性が高まってしまう。そこで、6月9日の『ロックの日』を契機に、**・建物の開口部には複数の施錠設備を設ける** **・駐車場の出入口等に自動車の侵入を防ぐチェーンポールを設ける** **・現金や貴重品は「防盜性能の高い金庫」に収納する** 等『ロックの強化』対策をお願いします。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

より美しく健康な住まいづくり

省令準耐火適合商品

CORNER BOARD

コーナーボード

さかやか せうこうボード FCボード

チヨウオーテ株式会社

中部支店
TEL059-365-5211 FAX059-364-5219

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部伸一
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会